

モデルケース概要（架空）

基本情報

氏名：A さん（仮名）

年齢：30 代

性別：男性

診断名：自閉スペクトラム症、重度知的障害

利用サービス：共同生活援助（グループホーム）、生活介護

生活歴

幼少期から言葉の発達の遅れや対人コミュニケーションの困難が見られ、学齢期に自閉スペクトラム症と診断された。特別支援学校卒業後は生活介護事業所を利用しながら地域生活を継続している。現在はグループホームで生活し、平日は生活介護事業所へ通所している。

普段の生活

グループホームでは毎日ほぼ同じ生活リズムで過ごしている。余暇時間には動画視聴や図鑑、チラシを見ることを好み、自室で落ち着いて過ごすことが多い。

生活介護事業所では軽作業や創作活動などに参加しているが、活動場所や予定の変更があると不安が強くなることがある。慣れた環境や決まった手順の中では安定して活動に参加することができる。

好きなこと・得意なこと

- ドライブや乗り物での移動
- 図鑑やチラシを見ること
- 決まった日課や手順に沿った活動
- 一人で落ち着いて過ごすこと
- 写真やイラストなど視覚的な情報を活用した活動
- 見通しが持てる環境での作業

主な行動上の特徴

Aさんは見通しを持つことや活動の切り替えを苦手としており、予定変更や環境変化があると不安が高まりやすい。

送迎車で事業所に到着した際には、活動への切り替えが難しく、職員の声かけがあっても車から降りるまでに時間を要することがある。特に予定変更がある日にはその傾向が強く見られる。

また、活動場所が変わると手洗いやロッカーの確認などを何度も繰り返し、自分なりの手順を増やす様子が見られる。環境の変化による不安を軽減するための行動と考えられる。食事場面では、食器の位置や食べ物の並びを確認しながら食べることが多く、一口ごとに動作が止まるため、他の利用者と比べて食事に長い時間を要することがある。

コミュニケーション面では、言葉でのやり取りは限定的で、職員の言葉を繰り返すことがある。口頭による説明だけでは理解が難しい場面もあるが、写真やイラストなどの視覚的な手がかりがあると理解しやすく、落ち着いて行動することができる。

以上